学校だより

武庫北の幸

学校通信No.４　令和７年６月３０日（月）
（学校目標）　心豊かで自主性のある子

平和への祈りを込めて

地震や自然災害の被害に苦しみ、安心安全を奪われている人々がいること。世界を見渡せば戦争の渦中で命を脅かされている子どもたちがいるということ。すべての人々が「幸せだ」といえる世の中・学校にするために自分にできることは何か！？

６月２４日（火）２５日（水）６年生は広島へ修学旅行に行ってきました。

「期待しかしていない！」というメッセージを伝えていた６年生。朝の登校時、素晴らしい挨拶ができるのは、圧倒的に６年生が多いのですが、３ヶ月が経ち、クラスや最高学年にも慣れた時期。そろそろ色々な場面で綻びが見られるのではと一抹の不安を感じていた中での修学旅行でした。

１日目の広島平和記念公園では、「原爆の子の像」の前で平和セレモニーを行い、全校生で折った折り鶴を平和への願いを込めて捧げました。

平和記念資料館では、真剣な表情で展示物や映像資料などを見たりメモを取ったりしながら、戦争の恐ろしさを感じ、平和の大切さについてしっかり学んでいました。

２日目の厳島神社では歴史的建造物に触れ、宮島水族館、宮島散策タイムではグループで声を掛け合いながら、協力し合って活動していました。お土産を選ぶ時には、自分の物に一生懸命な子もいれば、家族のお土産を何にするか時間をかけて考える優しい子も。
そんな子ども達の姿に、再び安心感を抱かされました。

学校生活において平和な心を育むには、

① 世界の紛争や人権問題について学び、平和を脅かす要素について考えること
② 教職員が子どもたちに優しく接し、互いを尊重する態度を身につけさせること
③ 学校のルールを守る、お互いを助け合う、感謝の気持ちを伝えるなどの行動を実践していくこと
④ 相手を許してあげられる大らかな気持ちでいられるように努力すること

ホテルの入館式での児童挨拶にあった「みんなが幸せに過ごせるように！！」決して、旅館だけでの言動ではありません。

２日間の修学旅行で学んだことを、一人一人がどれだけ深められるか、そして、学校での生活や日常生活にどのように繋げていくのか。とても大切なことです。

すべての人々が「幸せだ」といえる学校にするために、自分にできることは何か！？

修学旅行での学びはこれからも続きます。

（校長　上村　知一郎）

7月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	自転車安全教室（3年）	出前授業【平和学習】（6年） 放課後学習（１学期最終）		校外児童会（5校時終了後集団下校）		
7	8	9	１０	１１	１２	１３
委員会活動 みなと引き落とし（7月分）		出前授業【福祉】（４年）				
１４	１５	１６	１７	１８	１９	２０
		給食終了 １３：１５下校	１2:20下校	終業式、大掃除 12:00 下校		
２１	２２	２３	２４	２５	２６	２７
海の日	夏季休業日 →					

8月
～28日（木）夏季休業日
（8月11日（月）～17日（日）学校閉鎖）
29日（金）2学期始業式・大掃除

9月
１日（月）　給食開始
１日（月）～5日（金）
個人懇談会　夏休み作品展　13:15下校

１学期も、残り１ヶ月となり、子どもたちは学習のまとめに向けて日々勉強をがんばっています。夏休みには、１学期の学習を振り返りながら、特にがんばることを決めてチャレンジしてほしいと思います。子どもは、物事を自分で考えて決めたり、やり遂げたりしながら、達成感や成就感を味わうことによって大きく成長していくものです。夏休み前、どうぞ、子どもたちに元気がわいてくるような、がんばろうと思えるような声かけをお願いします。

★水泳学習について

６月１６日（月）から水泳学習が始まっています。地域の方、保護者の方々には、暑い中、子どもたちの安全監視をしていただくことで、子どもたちの不安を取り除いていただいております。誠にありがとうございます。プールに入る回数は、それほど多くありませんが、子どもたちが楽しく安全に水泳学習ができるよう指導していきます。

水泳の授業は限られています。忘れもの（プールカード・水着・水泳帽・バスタオル等）があった場合は見学となり、プールに入ることができません。忘れ物のないようにプール前日には、必ず持ち物の確認をお願いします。

★暑さ対策について

気温の高い日が続いております。学校では、今、水泳学習が行われており、十分な水分補給は欠かせない状況となっておりますので、毎日多めに持たせていただきますようお願いします。

また、登下校時も日差しが強いため、日傘を差す、帽子を被るなど熱中症対策を講じていただきますようお願いします。

これから夏休みに向けて、子どもたちの行動範囲も広がり、親の目の届かないところで行動する機会が増えてきます。水辺（海や川、用水路等）での事故・交通事故や事件にあわないように、ご家庭でも十分に話をして、安全に生活できるようご協力をお願いします。